

Fujiyoshi
藤吉工業株式会社

国土交通大臣一般認定品

フジヨシ 膜分離活性汚泥法

BOD型合併処理浄化槽
高度処理型合併処理浄化槽

ISO 9001
認証取得

本社・水処理技術研究所
プラントサービス株式会社

建築基準法施行令第35条第1項の規定に適合

BOD型

名称：「フジヨシ膜分離活性汚泥法」
BOD型合併処理浄化槽
処理方式：膜分離活性汚泥方式
処理対象人員：51～10,000人
処理性能：告示第8と同等以上
認定番号：DW3N-8173 (51～5,000)
DW3N-8185 (5,001～10,000)

高度処理型

名称：「フジヨシ膜分離活性汚泥法」
高度処理型合併処理浄化槽
処理方式：凝集剤添加型膜分離活性汚泥方式
処理対象人数：51～10,000人
処理性能：告示第8及び第11と同等以上
認定番号：DW3N-8174 (51～5,000)
DW3N-8184 (5,001～10,000)



処理水質：(一般評定排水基準値)

水質項目	BOD	COD	SS	n-Hex抽出物	T-N	T-P
BOD型	5mg/ℓ以下	10mg/ℓ以下	5mg/ℓ以下	5mg/ℓ以下	20mg/ℓ以下	—
高度処理型	5mg/ℓ以下	10mg/ℓ以下	5mg/ℓ以下	5mg/ℓ以下	10mg/ℓ以下	0.5mg/ℓ以下

(財)日本建築センターによる審査結果性能評定値

特長

1 窒素も同時に除去

膜分離法の採用により高濃度活性汚泥運転が可能となり、BODなどの有機汚濁物質の分解だけでなく、窒素も同時に除去できます。

リン除去に対応した高度処理型 高度処理型は、硝化槽に凝集剤を直接添加する除去方式を採用しているためリンも除去できます。

2 施設設置面積がコンパクト

高濃度活性汚泥運転でばっ気槽(脱窒槽・硝化槽)容量を小さくでき、沈殿槽や污泥濃縮槽が不要です。よって従来方式の合併浄化槽に比べて設置面積が25～50%(当社比)の省スペースとなります。

さらに小さいBOD型 BOD型は、高度処理型と比べばっ気槽容量がさらに小さくなりますから、施設全体がよりコンパクトになります。

3 処理水再利用が可能

処理水は、膜の小さな孔(1mmの1万分の4)を通過したのだけです。処理水質はきわめて良好で、安定しています。このため、高度処理型はもちろんBOD型でも、砂ろ過などの高度処理設備は一切不要となり、トイレ洗浄用水等として再利用できます。

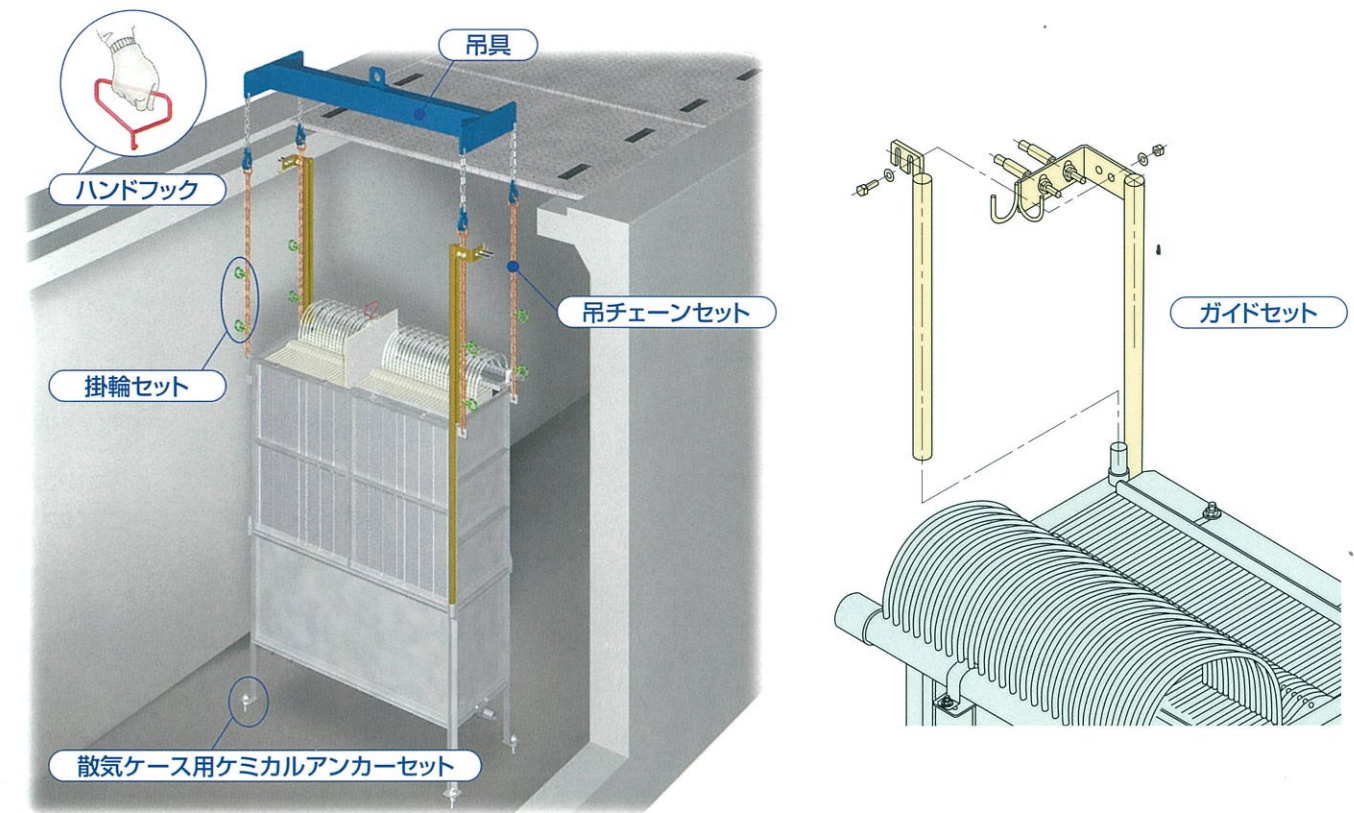
4 膜はセルフクリーニング

膜分離装置は、ばっ気槽(硝化槽)内に設置されていて、ばっ気攪拌の水流と気泡で膜面がツねに洗浄されています。従って、洗浄のための特別な動力は不要で、安定した膜分離ができます。

5 運転管理が容易

処理フローがシンプルで、負荷変動にも強いいため、運転管理が容易で、かつ従来方式に比較して格段に電気代・薬品代が安くなります。

構成部品



膜ユニットの仕様

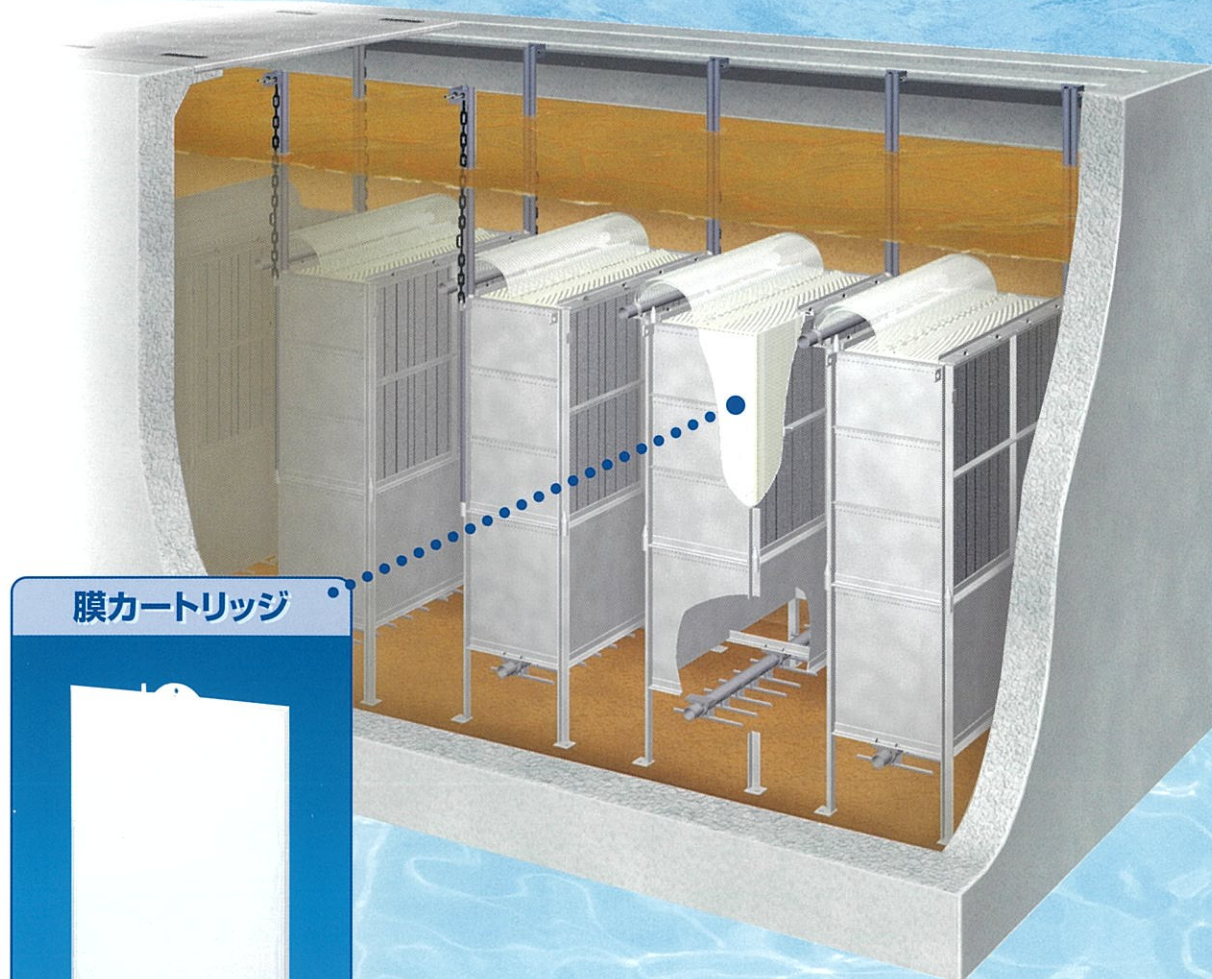
型式	カートリッジ枚数	寸法[mm]			膜ケース質量[kg] (乾燥)	散気ケース質量[kg]	有効膜面積[m ²]	散気管供給空気量[m ³ /min]	
		幅	長さ	高さ				必要量	上限
AS	150	600	2190	2520	650	130	120	1.5	2.25
	125	600	1840	2520	550	110	100	1.25	1.87
	100	600	1490	2520	440	100	80	1.0	1.5
ES	200	600	2910	2020	880	150	160	2.0	3.0
	150	600	2190	2020	650	100	120	1.5	2.25
	125	600	1840	2020	550	90	100	1.25	1.87
	100	600	1490	2020	440	80	80	1.0	1.5
FS	75	600	1140	2020	330	50	60	0.75	1.12
	75	600	1140	1520	330	30	60	0.94	1.5
	50	600	780	1520	230	25	40	0.63	1.5

フジヨシ膜分離活性汚泥法は

BOD・COD・SS・窒素・リンの同時

除去を実現した合併処理浄化槽

RC水槽への設置例



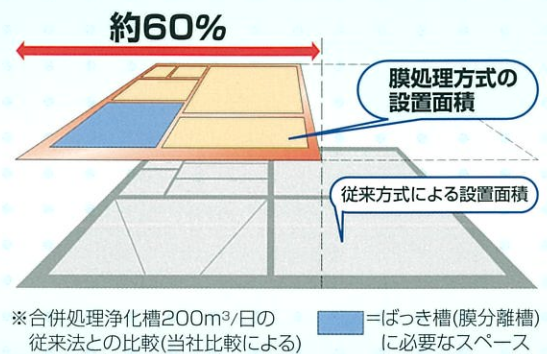
膜カートリッジ



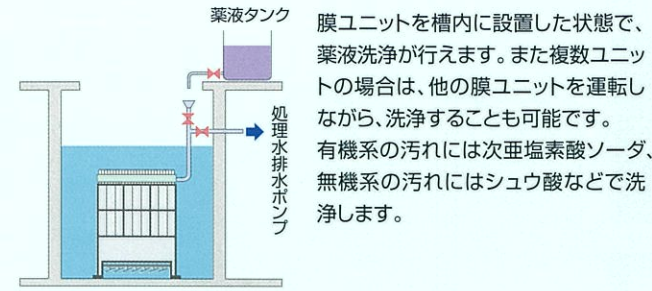
▲510形

設置面積の大幅な省スペース化!!

活性汚泥を高濃度で運転できるためばっ気槽が小さくなり、また沈殿槽・汚泥濃縮槽が不要となるため施設がコンパクトになります。



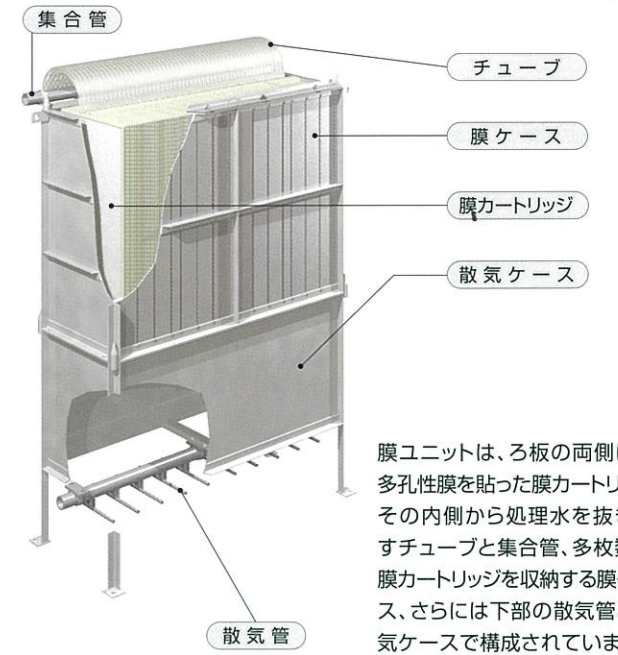
A 槽内薬液洗浄 簡単な薬液洗浄システム



B 散気管洗浄 独自開発の散気管でメンテナンスも容易



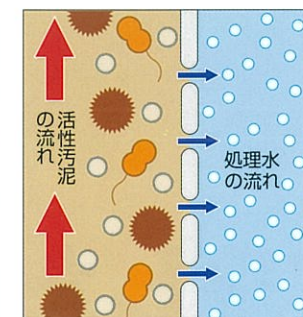
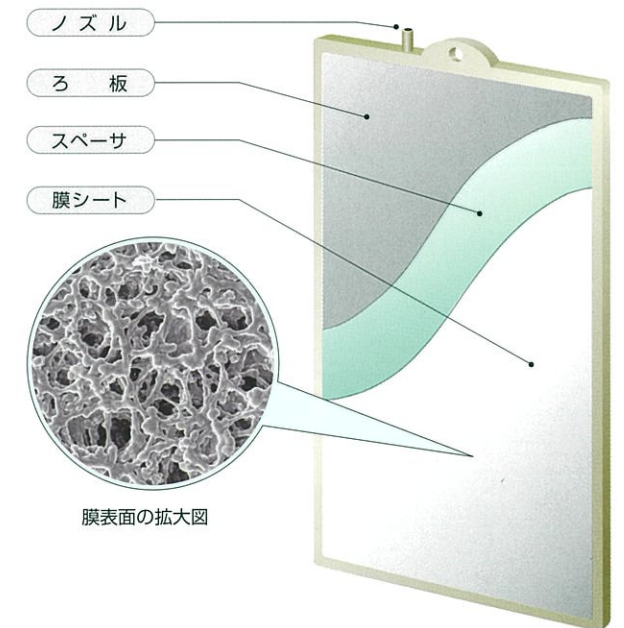
膜ユニットの構成



膜ユニットは、ろ板の両側に微多孔性膜を貼った膜カートリッジ、その内側から処理水を抜き出すチューブと集合管、多枚数の膜カートリッジを収納する膜ケース、さらには下部の散気管と散気ケースで構成されています。膜カートリッジは1枚ずつ取り出すことができ、点検・交換も簡単です。

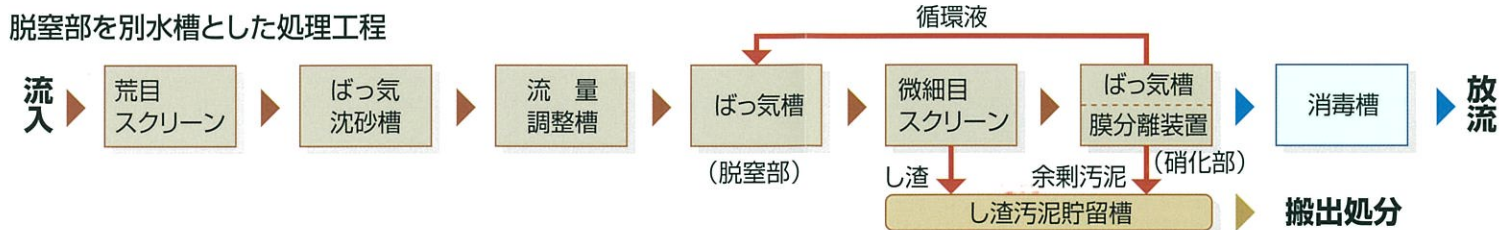
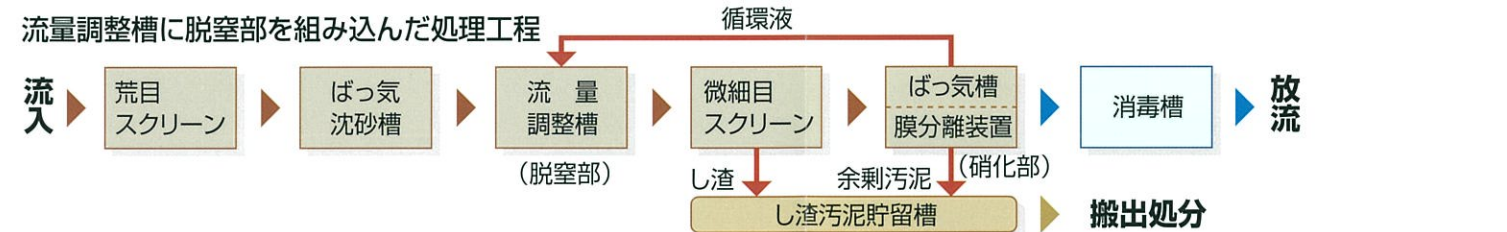
膜カートリッジのしくみ

膜カートリッジの両面に貼られた膜材は、塩素化ポリエチレンを原料とした公称孔径0.4μmの微多孔性膜です。処理水はスペースを通り、ノズルから排出されます。

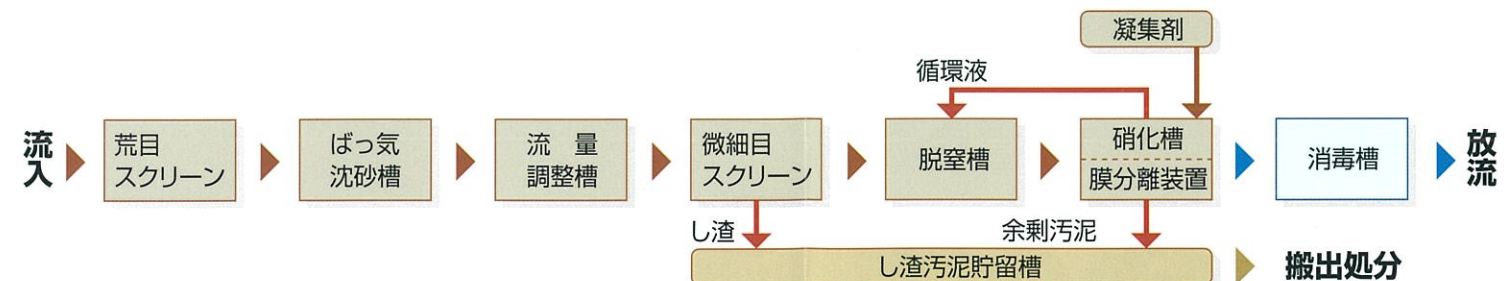


◀◀クロスフローろ過方式
分離対象液が膜面と平行に流れ、処理水は膜面に直角に透過します。ばっ気水流で常時セルフクリーニングをすることで、膜表面に堆積物が生じにくい構造となっております。

BOD型フローシート



高度処理型フローシート



水と人と未来をひらく

FUJIYOSHI
藤吉工業

〒453-0801 名古屋市中村区太閤4丁目2番8号
TEL.052(451)8261(代) FAX.052(451)2373

東京支社 東京都中央区日本橋小舟町9-13
〒103-0024 TEL.03(3666)7811(代) FAX.03(3666)7816

大阪支社 大阪市淀川区東三国6-6-6
〒532-0002 TEL.06(6395)1950(代) FAX.06(6395)1970

札幌・秋田・青森・盛岡・山形・仙台・福島・横浜・宇都宮・新潟
甲府・長野・熱海・静岡・浜松・富山・福井・小松・豊橋・刈谷
飛島・岐阜・四日市・津・滋賀・奈良・広島・福岡

- A.ご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みください。
B.製品の改良のために仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
C.イラスト等、説明のため着色してありますが、製品の色とは異なりますのでご了承ください。